

赤旗

北関東のページ



井謹士 高橋 利明さん

北関東の農業は、日本の農業の象徴である。しかし、過度の水利用によって水資源が枯渇する危機感が高まっている。そこで、水資源を守るために活動する団体「ストップ! 北関東農業危機実行委員会」の代表者である高橋利明さんに話を聞いた。



インタビュー

1都5県で住民訴訟

昭和十一年に高橋さんによると、この辺りの農業がまだ開拓され始めた頃から、地下水を多く使うため、農業用水の供給が問題となっていました。これは、当時の農業政策が、過度な水利用を奨励していたことが原因でした。

一方、海水浸出の問題も深刻化していました。海水浸出は、主に過度な灌漑や排水不足によるもので、土壌中の塩分濃度が高くなることで、作物の生育が悪化する危険性があります。このため、農業者たちは、海水浸出対策として様々な方法を試してきました。しかし、これがまた、地下水の過度な利用を助長する要因となってしまったのです。

1980年代後半には、この問題に対する社会的な懸念が高まり、農業用水の規制や灌漑技術の改良が進み始めました。しかし、依然として地下水の過度な利用が問題となっていました。

そこで、2002年から北関東農業危機実行委員会が活動を開始しました。高橋さんは、この組織の活動を通じて、農業用水の規制や灌漑技術の改良を推進する一方で、地下水の過度な利用に対する社会的懸念を高めようとしたのです。

その結果、2004年には、北関東農業危機実行委員会が中心となって、1都5県で住民訴訟を提起することになりました。この訴訟では、農業用水の規制や灌漑技術の改良を求めていたのですが、結論として、農業用水の規制が実現されました。

公共事業のムダ問う

一方、高橋さんは、この辺りの農業用水の規制が実現されたことを喜んでいました。しかし、同時に、この規制が、他の公共事業にも影響を与える可能性があることを心配していました。

たとえば、農業用水の規制によって、農業者の収入が減少する可能性があることや、農業者の生産活動が止まってしまうなどの問題が浮上していました。

そこで、高橋さんは、農業用水の規制が、他の公共事業にも影響を与える可能性があることを心配していました。たとえば、農業用水の規制によって、農業者の収入が減少する可能性があることや、農業者の生産活動が止まってしまうなどの問題が浮上していました。

たとえば、農業用水の規制によって、農業者の収入が減少する可能性があることや、農業者の生産活動が止まってしまうなどの問題が浮上していました。

一方、農業用水の規制によって、農業者の収入が減少する可能性があることや、農業者の生産活動が止まってしまうなどの問題が浮上していました。

一方、農業用水の規制によって、農業者の収入が減少する可能性があることや、農業者の生産活動が止まってしまうなどの問題が浮上していました。

一方、農業用水の規制によって、農業者の収入が減少する可能性があることや、農業者の生産活動が止まってしまうなどの問題が浮上していました。

一方、農業用水の規制によって、農業者の収入が減少する可能性があることや、農業者の生産活動が止まってしまうなどの問題が浮上していました。

赤旗

北関東のページ



スッポン
ハラダ
矢部 優介
インタビュー



スッポンと矢部優介の会話

スッポンと矢部優介の会話

致命的な岩盤の弱さ

スッポンと矢部優介の会話

矢部優介は、元NHK放送文化研究所所長で、現在は文部科学省小学校教育課担当官。矢部が「岩盤の弱さ」について語る。矢部によると、岩盤の弱さは、自然災害の原因となる要因の一つだ。たとえば、岩盤が弱いと、地震で地盤が陥没したり、崩壊したりする危険性がある。また、岩盤が弱いと、雨水による浸食や風による侵食によって、地盤が崩れたり、陥没したりする危険性がある。しかし、岩盤が強ければ、これらの危険性が減る。したがって、岩盤の強さは、安全な住み方のための大切な要素である。

矢部優介（以下、矢部） 今度の豪雨による大雨や、岩盤の弱さが、なぜこの豪雨で、こんなに多くの被害をもたらすのでしょうか？

スッポン（以下、スッポン） 大雨の際に、岩盤の弱さが、なぜ多くの被害をもたらすのでしょうか？

スッポン（以下、スッポン） 大雨の際に、岩盤の弱さが、なぜ多くの被害をもたらすのでしょうか？

矢部 岩盤の弱さは、自然災害の原因となる要因の一つだ。たとえば、岩盤が弱いと、地震で地盤が陥没したり、崩壊したりする危険性がある。また、岩盤が弱いと、雨水による浸食や風による侵食によって、地盤が崩れたり、陥没したりする危険性がある。しかし、岩盤が強ければ、これらの危険性が減る。したがって、岩盤の強さは、安全な住み方のための大切な要素である。

矢部 岩盤の弱さは、自然災害の原因となる要因の一つだ。たとえば、岩盤が弱いと、地震で地盤が陥没したり、崩壊したりする危険性がある。また、岩盤が弱いと、雨水による浸食や風による侵食によって、地盤が崩れたり、陥没したりする危険性がある。しかし、岩盤が強ければ、これらの危険性が減る。したがって、岩盤の強さは、安全な住み方のための大切な要素である。

矢部 岩盤の弱さは、自然災害の原因となる要因の一つだ。たとえば、岩盤が弱いと、地震で地盤が陥没したり、崩壊したりする危険性がある。また、岩盤が弱いと、雨水による浸食や風による侵食によって、地盤が崩れたり、陥没したりする危険性がある。しかし、岩盤が強ければ、これらの危険性が減る。したがって、岩盤の強さは、安全な住み方のための大切な要素である。



水源開発問題全国連絡会共同代表

鷹津 崑之さん



インタビュー

国がダム建設理由の一
つとして挙げるのも、利
根川流域の都市の水需要
に応えるといふことで、
県の水道用水の実績は、
一九九一年一月最大給水

需要の実績の推移を見る
と、むしろ給水量は減少

水需要は減り続けるで
しょう。これから水余
りの時代に入り、ハツカ
(やどり)ダムの利水上

水機器が家庭を普及して
きしたことばかりで、
安全性の面ではいいの
るべきです。

地下水、多摩川上流の
水、荒川中流の水です。
水のおいしさを比較した
結果は、地下水などとい
う圧倒的多数が地下
水として最高のもので
す。もっと地下水利用
する水行政を進めてしま
す。ですから完成が大

幅に遅れることは必至

地下水は地下水とい

うことです。地下水は、
予定どおりの完成をめ
た水道の水利権は、田ん
ぼに水を引かない冬場の
非がんがい期には取水す
る権利がないとされ、雪

てあります。

た。ダムの完成予定期

は、一九九一年三月四

万立方メートルの方針も

減少しています。

将来的な水需要予測

も、人口は伸びないで、
水の水道水を運びまし

ます。もっと地下水利用
する水行政を進めてしま
す。ですから完成が大

幅に遅れることは必至

地下水は地下水とい

うことです。地下水は、
予定どおりの完成をめ

た水道の水利権は、田ん
ぼに水を引かない冬場の
非がんがい期には取水す
る権利がないとされ、雪

てあります。

た。ダムの完成予定期

は、一九九一年三月四

万立方メートルの方針も

減少しています。

将来的な水需要予測

も、人口は伸びないで、
水の水道水を運びまし

ます。もっと地下水利用
する水行政を進めてしま
す。ですから完成が大

幅に遅れることは必至

地下水は地下水とい

うことです。地下水は、
予定どおりの完成をめ

た水道の水利権は、田ん
ぼに水を引かない冬場の
非がんがい期には取水す
る権利がないとされ、雪

てあります。

た。ダムの完成予定期

は、一九九一年三月四

万立方メートルの方針も

減少しています。

将来的な水需要予測

も、人口は伸びないで、
水の水道水を運びまし

ます。もっと地下水利用
する水行政を進めてしま
す。ですから完成が大

幅に遅れることは必至

地下水は地下水とい

うことです。地下水は、
予定どおりの完成をめ

た水道の水利権は、田ん
ぼに水を引かない冬場の
非がんがい期には取水す
る権利がないとされ、雪

てあります。

た。ダムの完成予定期

は、一九九一年三月四

万立方メートルの方針も

減少しています。

将来的な水需要予測

も、人口は伸びないで、
水の水道水を運びまし

ます。もっと地下水利用
する水行政を進めてしま
す。ですから完成が大

「水源開発に応える」というが

水余りの時代に不要だ

の必要はなくなっています。

清浄な地下水

利用すすめて

都内で二種類の水道水

を飲み比べてもらう実験
をしたことがあります。

しまつてあるとき

○水源開発問題全国連
絡会共同代表 増玉真
在住 61歳

ンは、原水に含まれる有
機物質と塩素が結合して
生成されるのですが、ト
リハロメタン濃度の比較
で荒川中流の水道水は地
下水の水道水の十倍以上

玉では地盤沈下は九七年
から緩和化しています。

行政が今なお地下水利
用を減らしつづける理由
としている地盤沈下の防
止は表向きであり、ダム
計画の必要性を押し出す
ためです。まずい水を高
い値を払って賣わざ
るのは住民です。

来年度予算で二千八百
億円をハツカダム建設に
使われる

行政が今なお地下水利
用を減らしつづける理由
としている地盤沈下の防
止は表向きであり、ダム
計画の必要性を押し出す
ためです。まずい水を高
い値を払って賣わざ
るのは住民です。

玉では地盤沈下は九七年
から緩和化しています。

行政が今なお地下水利
用を減らしつづける理由
としている地盤沈下の防
止は表向きであり、ダム
計画の必要性を押し出す
ためです。まずい水を高
い値を払って賣わざ
るのは住民です。

1兆円の負担
ゆるされない

1兆円の負担

玉では地盤沈下は九七年
から緩和化しています。

しかし、暫定とされた
が実際には冬場も取水
が可能で、ずっと取水を
続けています。それが
年に国交省は、ダムへ
の参加を強要していま
す。水利権許可制度の民
主化が必要なのです。

国税、地方税、水道料
金など、必要なないダム
に約一兆円の負担を強い
られるのは許せない、大

近年水源開発事業も相
次いで完成し、各都県は
も止めたい、という思い
が強くなりました。水需
要は足りていて新たなダ
ムは必要ありません。

